

## 2012年度「若手研究者支援プログラム」のお知らせ

2012年第8回「若手研究者支援プログラム」を、8月24日より26日までの3日間にわたり奈良県立万葉文化館との共催で開催いたします。古事記撰進より1300年の節目を迎え、昨年の「古事記と萬葉集」に引き続き、今年は「古代日本語と『古事記』」というテーマで上代日本の言語と文学のありようを再検討しようという企画です。

主に語学・文学分野の若手研究者を対象としていますが、25日の公開講演会・シンポジウムにつきましては一般の方々の御参加も歓迎しております。24日は、公開指導方式による若手研究者の研究発表会を開催いたします。若手研究者の発表後、あらかじめ指定した講師による公開指導というスタイルで、論文の書き方について実践的に学んでいただくという趣旨です。若手に限らず多数の研究者の方々のご参加をお待ちしております。

なお、大学および研究機関等で御指導に当たられている先生方におかれましては、ぜひ大学院生・研究生諸氏にお知らせいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

奈良女子大学古代学学術研究センター

若手研究者支援事業担当 奥村 和美

記

## 若手研究者支援プログラム 古代日本語と『古事記』

### 第1部

**若手研究発表会** 若手研究者による発表及び講師による公開指導（無料）

**8月24日（金）** 13時30分～17時30分 （於 奈良女子大学 S228）

万葉集「シノフ」考

皇學館大学大学院生 井口 日奈

○講師 神戸松蔭女子学院大学教授 吉井 健

古事記における猿田毗古神話の構造

奈良女子大学大学院生 星 愛美

○講師 山梨英和大学教授 石田 千尋

石中死人歌の構成—われの視点と方法—

筑波大学大学院院生 茂野 智大

○講師 京都大学名誉教授 内田 賢徳

司会

奈良女子大学准教授 奥村 和美

\*終了後、懇親会。専任教職員等 4,000円 学生 3,000円

## 第2部

### 公開講演会とシンポジウム「古代日本語と『古事記』」(無料※)

8月25日(土) 10時30分～17時00分 (於 奈良県立万葉文化館 受付10時～)

古事記の構想—天照大御神と鏡を中心に— 皇學館大学教授 毛利 正守

古事記はよめたか—万葉人は古事記をどうよんだのか—

奈良女子大学教授 奥村 悦三

『古事記』歌謡のことば

聖心女子大学名誉教授 山口 佳紀

司会

京都大学名誉教授 内田 賢徳

※館内展示の観覧には、別途入館料が必要です

## 第3部

### 臨地研究「古事記の故地」(別途参加費要※)

8月26日(日) 9時50分～16時

太安万侶墓—福住の氷室—三陵墓古墳(鬮鷄国造の墓)—都祁水分神社—小治田

安萬侶墓(国の史跡)—墨坂神社(未定)—大神神社—近鉄奈良駅

臨地説明

奈良女子大学教授 出田 和久

※昼食代込みで、学生 3,500 円、専任教職員等 4,000 円程度を予定していますが、参加人数によって費用に若干の変動があることを御承知おきください。

## 申込方法

〈8月25日(土)のみの一般参加の場合〉

申込み手続き不要

〈8月24日(金)・8月25日(土)・8月26日(日)に研究者として参加の場合〉

☆大学院生以上の研究者に限らせていただきます。

以下のフォーマットを御使用の上、下記宛先までメール・ファクシミリ・郵送のいずれかで、8月16日(木)までにお申込みください。

申込宛先

〒630-8506 奈良市北魚屋東町

奈良女子大学コラボレーションセンター205号室

奈良女子大学古代学学術研究センター

電話・FAX 0742-20-3779

E-mail [kodaigaku@cc.nara-wu.ac.jp](mailto:kodaigaku@cc.nara-wu.ac.jp)

※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※  
2012年第8回「若手研究者支援プログラム」参加申込書

氏名(ふりがな)

所属大学／機関名

所属学部／部署名

学年／役職

郵便番号

住所

電話・FAX番号

メールアドレス

参加日程(○印をつけてください) 24日( ) 24日懇親会( )

25日( )

26日( )

※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※

以上